

明和町議会議員定数等に関する報告書

明和町議会議員定数等の在り方調査会

令和7年8月22日

◆はじめに

明和町議会議員定数等の在り方調査会は、令和7年4月1日に制定された同調査会設置要綱に基づき、町議会から諮問を受け、令和7年5月12日に発足した。

本調査会発足のきっかけは、議会基本条例の制定や、議会におけるペーパーレス化、そして今回調査を行っている議員定数の見直しを検討するため、令和5年3月に議会改革特別委員会が発足されたことにある。

明和町では、昭和33年9月に三和町と斎明村が合併し、明和町となって以来、当時の議員定数26人から、12人を削減し、現在の14人になるまで、時代に即した議論がなされ議員定数が削減されてきた経緯がある。

その間、議員定数の削減だけではなく、費用弁償の全面廃止や、旅費日当の廃止、議員報酬の削減など、社会情勢や町財政状況などを考慮されながら、鋭意、議会改革も進められてきた。

その中で、時代は昭和から平成、令和に代わり地方行政も大きな変革が求められてきており、今般、平成18年3月以来、約20年ぶりに議員定数を見直すこととなったものである。

また、本調査会は、昨今の民意を反映し、議員定数と併せて議員報酬についても検討し、計4回の議論を重ね、この度、本報告書を提出することとなった。

明和町議会におかれては、本報告書の内容を参考に、議員定数等に関する真摯な議論がなされることを切に望むものである。

また、本調査会の審議や調査にご協力いただいた関係各位には、本報告書をもって深く感謝を表したい。

◆議員定数についての経過

明和町議会における議員定数の推移であるが、昭和33年9月に三和町と斎明村が合併し、明和町となって以来、当時の議員定数26人から昭和44年9月に4人を削減し22人に、昭和61年3月に2人削減し20人となり、平成11年6月に2人削減し18人、平成18年3月に4人削減し14人となり、現在に至っている。

議員定数の経過

昭和33年9月	昭和44年9月	昭和61年3月	平成11年6月	平成18年3月
26人	22人	20人	18人	14人

◆議員報酬についての経過

平成15年1月、特別職給料及び議員の報酬改正について、特別職報酬等審議会から、2万円減額の答申が出され、同年2月の議会運営委員会において、1万円削減案が提示された。

同年2月21日の全員協議会において協議後、同年3月6日の本会議において、下記金額の条例の一部改正が可決された。

その後、議員報酬は現在に至っている。

年 月	議員報酬月額(円)			
	議長	副議長	常任委員長	議員
平成15年3月まで	310,000	240,000	235,000	230,000
平成15年4月以降	300,000	230,000	225,000	220,000

◆調査における検討内容及び各委員の意見

◇検討内容

令和6年度に実施した町民アンケート(郵便・議会懇談会時・web)の結果や、昨今の近隣の議員定数の削減状況、当町発足時からの定数削減の経緯、常任委員会数やその構成人数、現在の各地区の議員数などから、明和町議会の議員数を検討した。

また、今後の明和町議会議員の報酬についても、町の財政状況や、議員の活動実績、県内市町の議員報酬なども参考に検討を行った。

なお、報酬額の審議においては、議長、副議長、一般議員など、それぞれの役職に基づき検討した。

◇各委員からの意見

各委員からは、配布資料(別途参考資料)や、町民アンケート結果などを参考に、現状維持から3名削減まで幅広い意見がでた。

その中でも、議員定数の偶数・奇数問題や、明和町の将来の人口ビジョン、近隣との比較、立候補者確保に向けたプラス条件など、議員定数に対しての様々な意見があった。

また、将来の議員報酬については、議員の仕事の内容や、社会情勢に応じた生活給として、もっと議員報酬を上げるべきであるとの意見が出た一方で、志があれば議員の成り手はある、もっと議会活動の啓発を行うべき、という意見もあったが、本調査会全体としては、

報酬を増額する方向の意見が多く、報酬シミュレーションの結果においても、予算内での報酬アップの意見が多数であった。

なお、各委員からの意見の詳細については、別添、参考資料の議事録を確認いただきたい。

◆本調査会としての結論

◇議員定数について

本調査会において、今後の定数を何人にするのか、また、報酬をどの程度にするのが良いか、全委員から意見が出た。

その結果、当初は現状維持、また減らす方向、双方の意見があった。その後、町民アンケートの結果や財政状況、1委員会の議員数、町内地区割から議員数を検討した結果、各委員の意見として減らす方向で意見がまとまり、定員を2人減らす意見の委員が3名、3人減らす意見の委員が3名となったため、その結果を調査会の結論とすることで委員の意見が一致した。

結論として、2人ないし3人を削減し、12人若しくは11人が妥当なものと結論づける。

◇議員報酬について

議員報酬については、定数確定後、報酬を審議することとした。審議にあたっては、現代の社会情勢に鑑み、議長、副議長、一般議員の全役職において、おおむね現行の議会費の総額を超えない範囲内で報酬を増額することで一致し、更に具体的な報酬の審議の結果、下記の報酬額を結論とする。

なお、現在の議長、副議長、一般議員の報酬金額のバランスも検討した結果、副議長においては、その職責、量を鑑みて議長と一般議員の中間とし、議会運営委員長、各常任委員長においても、その職責から下記のとおり増額とした。

(参考)議員報酬月額(円)

	議 長	副議長	常任委員長等	議 員
現 行	300,000	230,000	225,000	220,000
定数12人	350,000	300,000	260,000	250,000
定数11人	370,000	320,000	290,000	270,000

※常任委員長等には、議会運営委員長を含む

◆おわりに

本調査会では、議員定数の審議の後、議員報酬においても併せて検討を行った。結論は先に述べたとおりであるが、議員報酬においては、明和町特別職報酬等審議会においても、更に審議をお願いしたい。

また、今回の結果は議員定数を削減する方向であるが、議会として、より一層活発な議論になることを望み、合わせて、町民への広報・広聴も進められ、多様な議会の在り方を検討いただきたい。

◆参考資料

第1回～第4回明和町議会議員定数等の在り方調査会議事録

明和町議会議員定数等の在り方調査会設置要綱

明和町議会議員定数等の在り方調査会委員名簿

明和町議会議員定数等の在り方調査会開催日程一覧

明和町議会議員定数等の在り方調査会スケジュール

明和町議会議員定数削減、報酬削減等の経過

県内各市町及び類似団体データ

明和町議会費内訳

明和町の財政状況

明和町議会における議員の活動(公務)の実態

明和町議会議員分布図

明和町議会議員選挙結果の推移

各種選挙の投票率の推移

各投票所における投票率(令和6年10月27日執行 衆議院議員総選挙小選挙区)

投票所一覧表

年代別・地区別人口の状況

令和6年中の人口動向